

私は昨年、このコンクールで銅賞をいただいた
きました。その時、次は絶対に金賞をとりたい
と強く思いました。今年、小学校最後の挑
戦でその夢がかない、受賞の知らせを聞いた
時は、うれしくて胸がいっぱいになりました。
この一枚の絵が仕上がるまでにはすごく時
間がかかりました。見た人に下水道の事が伝
わるポスターをどう表現すればよいだろう、
とたくさんなやみました。そんな時、テレビ
で下水道工事事故のニュースを見ました。そ
の事故で、作業員四名がマンホールに転落し、
亡くなりました。私は言葉が出てきませんで
した。すごくショックだったし、悲しかった
です。下水道の作業にはこのような危険がと
もなうということを初めて知りました。私た
ちが普段当たり前のように使っているきつい
な水は、決して当たり前のものではなく、人
の手によつてつくられている命の水なのだ
と感じました。だから私は、ポスターにそのこ
とを描きたいと思いました。

画用紙の真ん中には作業している二人の男性を、そしてマンホールから下水道へとつながっていく様子を表しました。家庭や事業所などから出る汚水は、地下のマンホールや下水道管を通して下水処理場に運ばれ、きれいな水となつて川や海へ放流されます。そのきれいな水の中で生き生きと飛び跳ねる川魚の姿を絵にしたいと思いました。また、ポスターを見た人が明るい気持ちになれるように、背景にはあざやかな黄色を選びました。最後

まで手をぬかず仕上げたこの絵は、私にとつて最高の一枚となりました。

私たちの生活に欠かすことのできない下水道。そのうらにはたくさんの方の努力や働きがあります。この事に感謝しながら、これから水という資源を大切にしていきたいです。本日はこのような素晴らしい表彰式を開催していただき本当にありがとうございます。

受賞者代表

甲斐市立竜王小学校

六年

廣瀬

遙